

# 2008年度寄附講座

日本の小売制度に対して似鳥社長はチェーンストアが、日本の人々の暮らしを豊かにする。そのためには新しい経済制度が必要で、「流通革命」によって「経済民主主義」を実現する。その手段として、『チェーンストア経営システム』が必要である。今まではメーカーに価格の決定権があり、見込み生産によって流通がコントロールされてきたが、これからはチェーンストアが「使う立場」・「食べる立場」・「楽しむ立場」で計画生産し、さらに『マス・マーチャンダイジングシステム』の確立によって、価格を市場の二分の一から三分の一にすること。そのことが、大部分の大衆(国民の85%)が豊かさを享受できるための『革命』となる。「それを実現し、発展させるのは君たち若者」と、熱く熱く講義していました。

## ■カリキュラム

前期	後期
第1回 4月18日(金) チェーンストア経営の基本	第8回 9月26日(金) チェーンストアの組織
第2回 5月 2日(金) チェーンストアの任務	第9回 10月10日(金) チェーンストアの教育
第3回 5月23日(金) チェーンストア産業への道	第10回 10月24日(金) チェーンストアの経営戦略
第4回 6月20日(金) チェーンストア経営原則	第11回 11月 7日(金) チェーンストアのフォーマット
第5回 7月 4日(金) チェーンストアのマネジメント	第12回 11月21日(金) 能力開発の方向
第6回 7月18日(金) アメリカ大チェーンの近況	第13回 12月 5日(金) 能力開発とマネジメントの原則
第7回 7月18日(金) チェーンストアの店舗	第14回 12月19日(金) チェーンストア論まとめ

※11月7日の講義は、「流通・サービスを科学する」記念シンポジウムに変更になっています。

## ■2008年度寄附講座シンポジウムー流通・サービスを科学するー

2008年11月7日、「流通・サービスの未来～店づくり、人づくり、商品づくり～」と題して、株式会社北洋銀行：高向代表取締役会長、生活協同組合コープさっぽろ：大見理事長、弊社似鳥社長の3氏による「リレー講演と鼎談の会」が開催されました。本講座のテーマである、『流通・サービスを科学する』を基盤とした講座の成果を報告するとともに、学部学生や一般の聴講生を交えた情報交換・相互交流を目的としています。講演は、(1)「北海道経済の未来」：高向氏、(2)「情報のオープン化とMD(マーチャンダイジング)の革新」：大見氏、(3)「これからの店づくり、人づくり、商品づくり」：似鳥、と題して行われました。

鼎談は自由な雰囲気、講演者の考え方や方向性を確認しつつ、参加者とのコミュニケーションを取りながら、今回のシンポジウムにおける統一的な成果を導き出します。鼎談では司会者のいないフリートーク(左下写真)で、北海道の未来や日本の進むべき道などが熱く語られ、また普段はあまり聞くことができない「逸話」や「本音トーク」に、約300名の参加者が耳を傾けていました。



3氏による鼎談ー左から弊社似鳥社長、(株)北洋銀行高向代表取締役会長、コープさっぽろ大見理事長



「ロマンとビジョン」「意欲」「執念」「好奇心」について語る

